

# 香取市ってこんなところ

## 香取市の概要

香取市は、以前の佐原市、小見川町、山田町、栗源町が合併し、平成 18 年 3 月に誕生しました。

千葉県北東部に位置し、東京都心から直線で約 70 km、千葉市から約 50 km、成田国際空港から約 15 km の距離にあります。市域は東西約 21.2 km、南北約 22.7 km におよび、面積は 262.35 km<sup>2</sup> と県内第 4 位の広さです。

北部地域は水郷風情が漂う利根川が東西に流れ、流域には水田地帯が広がり関東一の米の生産地となっており、南部地域は北総台地の一角を占め、山林や畑が広がり、全国有数のサツマイモなどの生産地となっています。

また、東国三社の一つ「香取神宮」、舟運で栄えた佐原・小見川のまちの趣をはじめ、古の古墳や出土品、府馬の大クスや実測日本地図を作成した「伊能忠敬」の旧宅など、類まれな歴史と文化が息づいています。

## 香取市は水と緑に囲まれ、自然、歴史、文化に彩られたまち



『黒部川』市民レガッタ



『香取神宮』  
本殿及び楼門は国の重要文化財に指定



『佐原の山車行事』  
ユネスコ無形文化遺産に登録

## 香取市の主な取組 ※ いま、次のような事業を進めています。

### ・子ども医療費助成事業

0 歳から高校生世代までの子どもの医療費を助成しています。高校生分は市の独自事業です。自己負担額は、入院 1 日と通院 1 回は 300 円、調剤（お薬）は無料です。

### ・子育て世代包括支援センターの設置

安心して子育てができる環境を目指し、妊娠・出産・子育てにおける総合相談窓口を設置しています。

### ・産婦人科施設誘致事業

産婦人科施設の誘致が決定し、市内での出産が実現できる見通しとなっています。

### ・佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業

佐原駅近くに、図書館、学生向けの学習室、音楽練習室や子どもが遊べる屋内広場などいろいろな機能を併せ持つ複合施設「みんなの賑わい交流拠点コンパス」を整備しています。令和 4 年度冬の会館予定です。

### ・橘ふれあい公園整備事業

豊かな自然空間を活かし、多世代間の交流の場、市外からの来訪者を誘致する場としてパークゴルフ場、キャンプ場、広場などを整備しています。

### ・空き店舗対策事業・創業支援事業

活力と魅力ある商店街づくりを推進するため、空き店舗を利用して営業を開始する方や新たに事業を開始する方、事業を引き継ぐ方に支援を実施しています。

### ・香取市健康相談ダイヤル 24

健康・育児・介護について 24 時間体制で相談を受け付けています。  
電話：0120-110-474

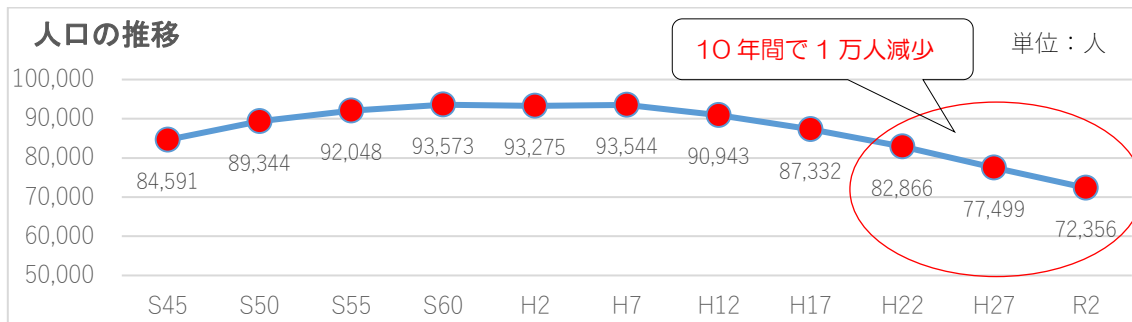


佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業  
「みんなの賑わい交流拠点コンパス」

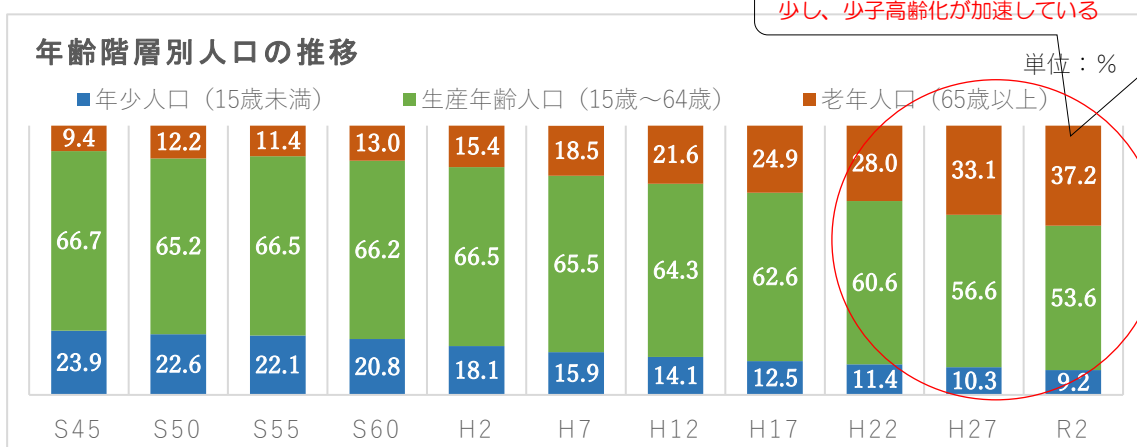
是非利用してください

## 人口の推移 ※ 人口減少、少子高齢化が進んでいます。

香取市の人口（平成18年度以前は合併前の4団体の合計値）は、昭和45年以降増加を続けていましたが、昭和60年をピークに減少に転じています。近年はその傾向が加速しており、平成22年から令和2年までの10年間で10,510人の減となっています。



年齢階層別人口の推移をみると、15歳未満の年少人口の比率が減少する一方、65歳以上の老年人口の比率が大幅に増加しています。全体として少子高齢化が加速しています。



## 財政運営 ※ 経営予測に応じた計画的な備えと取組が必要です。

人口の減少と少子高齢化は、市の財政にも大きな影響を及ぼします。生産年齢人口（15歳～64歳）の減少により市税収入が減少し、一方で、老年人口（65歳以上）の増加などにより医療や介護といった社会保障にかかる経費が増加します。また、老朽化した公共施設等の更新に係る経費の増加など、市が市民サービスのために自由に使える経費が少なくなることが予想されています。

香取市では、今後、財政状況が一層厳しくなることが見込まれることから、限られた財源の有効活用のため、今まで以上に計画的で効率的な財政運営を推進することとしています。

### 市の預貯金（基金）残高の推移

